

兵庫 県
保険 医 協 会

西宮 市
芦屋 区

支部 ニュース

No. 319

2014・6・25

発行
〒662-0832

兵庫 県 保 険 医 協 会
西宮 市 甲 風 園 一 一 一 五
連 絡 先 兵 庫 県 保 険 医 協 会

西宮・芦屋支部

法貴皮膚科内
電話 〇七八(三九三)一八〇三

東日本大震災支援・市民公開文化講演会

日本のありがたさに気づかされた

バイマールヤンジン氏が市民ら227人に講演

西宮・芦屋支部は5月17日、西宮市立勤労会館で、東日本大震災支援・市民公開文化講演会「チベット人音楽家バイマールヤンジンさんが語る チベットと日本・異文化を超えて」を開催。講師はチベット人音楽家のバイマールヤンジン氏、司会を谷端美香先生(芦屋市・高橋歯科医院)、挨拶を大森公一先生(西宮市・大森内科医院)、謝辞を法貴支部長(西宮市・法貴皮膚科)が務め、医師・歯科医師・市民ら227人が参加した。参加した先生からいただいた感想文を掲載する。

日本人であるご主人との結婚を決意した時、ご主人が両親に「毎年かならずチベットに彼女をいかせる」といってそれを20年間実行していること、その他、常にご主人に感謝している話から始まった。交通の便の悪い、高山病になる可能性のある彼女の生まれ故郷に、交通費もかかるだろうに、毎年約束通りにいかれた主人に頭がさがった。

遠く祖国をはなれて暮らす彼女の日本での様子をチベットの母親に伝えるには、当時手紙しかなかった。しかし、文盲の母親は読んでもらうまでその手紙を枕の下に置いて寝ていた、という話には母親の愛と彼女の母親への感謝を感じ、感動して涙を流さずにはいられなかった。

遊牧民族として家を支える人々は学校にいく余裕がなく、文盲の人は結構いるとのこと。その思いから、彼女はチベットの学校の建設に力をいれている。義務教育のおかげで字を読めない日本人がいない現実を、教育に力をいれてきた明治の日本人の人々のおかげであることを再認識した。

父親が病気になる時、医療費の分担についての家族での話し合いから、現在の日本で希薄になってきた大切な家族の絆、医療費が高いといっても皆保険、高額療養費制度がある日本のありがたさを気づかせてもらった。

私は小学校の時、南京大虐殺など、日本は悪いことをしてきたという話を、何度も聞かされたが、こんないいことを行ったというのを教えてもらったことはほとんど記憶にない。このような教育では、日本人である自分を卑下する子どもたちもいるだろうと容易に推定できる。外国人であるヤ

ンジンさんは、東北大震災での秩序ある日本人の振る舞いを感じたと言われた。たしか、阪神大震災でも、井戸水を「ご自由に」などすばらしい行為があり、略奪などはなかったことを思い出した。私たちが生きていなかった時代の出来事ではなく、すぐに思い出せるような最近の出来事でこれらは日本人として胸をはれることがあるのである。日本人のなかでは当たり前なことであっても、外国人から見たらすばらしいことなのである。現在の小学校や中学校における、一部の自虐的な教育ではなく、このような話を道徳の時間などで彼女に話してもらって、日本人であることを誇りをもって成長してほしいと思った。

常に感謝を忘れずに、他人の良い面をみるような彼女の生き方を知ることでも、自分もそのようになりたいと思った。とてもさわやかな土曜のひとときであった。【西宮市・伊賀内科循環器科 伊賀幹二】

《参加者からのアンケート》

・日本という恵まれた環境にいて、普段忘れがちな大切さが思い出されました。あたたかい気持ちになりました。
・感動しました。途中何度も涙が出ました。子を想う親、親を想う子、どんな時代、どんな場所で育っても不変なんですね。
・笑いあり涙で感激ありの講演で、とても感動しました。ありがたうございました。
・医療関係の方々がこのような活動をされているのを初めて知り、大変嬉しかったです。



司会を務める谷端先生(右)、挨拶する大森先生(中)と、謝辞を述べる法貴支部長(左)

日本とチベットの文化の違いについて語るバイマールヤンジンさん



リクエストにこたえて歌が披露されると、会場からは大きな拍手が沸き起こった

西宮・芦屋支部 第34回総会記念市民公開企画 小出裕章氏が語る 子どもたちの未来と大人たちの責任

日時：7月19日(土) 14時30分～(14時開場)

会場：西宮市立勤労会館大ホール

お話し：京都大学原子炉実験所助教 小出 裕章 氏

定員：400人(要事前申し込み)

※お申込み・お問い合わせは、協会事務局 岡林・山田・伊藤 Tel:078-393-1803 まで

芦屋放射線クリニックスのぞみ見学会

趣きある放射線専門クリニックスを見学

5月13日、「芦屋放射線クリニックスのぞみ」で見学会を開催。医師8人が参加した。司会を務めた林田英隆先生(西宮市・林田クリニックス)と参加した先生からいただいた感想文を掲載する。

このクリニックスは週刊文春(5月8日、15日)に紹介されています。自然にあふれる芦屋浜に昨年設立されたこのクリニックスは外観からして、従来の診療所らしくない一見京都にでもあるような洒落た和風レストランを思わせます。敷地面積1280㎡、延べ面積670㎡平屋の建物です。スタッフは総勢10人です。

玄関を入ると、吹き抜けのフラワーガーデンが迎えてくれます。待合室は暖炉があり、待合室を感じさせません。私の話



医院内を案内する池永先生

たばこポイ捨て禁止運動

駅前で喫煙者のマナー向上を呼びかけ

4月5日、JR西宮駅南側で、たばこポイ捨て禁止運動を実施。医師・患者ら5人が参加した。この運動を企画した伊賀幹二先生(西宮市・伊賀内科循環器科)の感想文を掲載する。

私は非喫煙者であり、たばこにおいても気分が悪くなるし咳もでる。患者には禁煙を説明しているが、たばこが世の中になくなることを期待できそうもない。指定喫煙場所以外では禁煙にして、せめて道路にたばこの吸い殻がないような町並みにならないかという思いからこの運動を企画した。

道路をきれいにするためには、「灰皿にいらしてください」と携帯灰皿を配るほうが「捨てるな」より有効と考えた。個人としてはJTから携帯灰皿を提供してもらえなかったもので、組織として保険医協会を経由して100個いただいた。今回、マナーを守っている喫煙者が、ポイ捨てる喫煙者に灰皿をわたすことによって、喫煙者にマナーを守ってもら

題提供はベクレルとシーベルトの違いとシーベルトの換算法等の話、その後、池永弘二院長の挨拶、放射線治療に特化したクリニックス開設までの思いについて話された後、院内の見学です。まず気づくのは、スタッフの皆さんが白衣、技師服、看護師服でなく、トロピカル調の上着です。院内の到る処に季節の花が私たちを和ませてくれます。また、各部屋の表札に驚きます。待合室は「マンタ」、更衣室は「ポセイドン」「ヘラの間」「陽、風、水」、リニヤックス室は「のぞみ」と書かれています。

この「のぞみ」部屋には、定位放射線治療を行う放射線治療装置の一つであるノバリスが中央にあるだけで、壁は杉の板です。機材、患者の着用服、器具等はすべて杉の壁板の中に隠されています。ノバリスはIMRT(強度変調型放射線治療)機能を持ち、いろいろの方向から赤外線が癌病巣を固定し、瞬時に病変に照射出来ます。高精度の定位放射線照射を行うためには、治療時の体の固定が重要です。池永院長は特注の固定器具を患者さんの台に取り付けています。治療時間は入室から退室まで15分、20分だそうです。

うことを目標とした。喫煙者として、私の患者さん2人にも参加してもらった。胸と背中につけたゼッケンの文言は、「私は喫煙者ですがマナーをまもります。吸い殻を道路に捨てないでください」とした(写真)。タバコを吸っているが、灰皿を持っていないかった人は、バツ悪そうに、灰皿を受け取ってくれた。これは、私一人での運動ではなかったことと、ゼッケンに目標の文言がかけられていたためだろう。

市役所の周辺のように、指定場所以外ではたばこを吸えないモデル都市「西宮」にならないかと期待している。

【西宮市・伊賀内科循環器科 伊賀 幹二】



伊賀先生の患者さんも駅前で携帯用灰皿の配布に協力

次に、CT, MR室です。診断用として利用されています。院長の診察室はゆったりとした王朝風の患者用の椅子、扉を閉めれば、遮音された一室です。

あつという間に小一時間が過ぎ、この後、西口郁先生を交えての質疑応答。前立腺癌は生殖機能が温存される放射線治療の方がベターである。また癌の骨転移の痛みには80%の緩和率があるそうです。がん患者には、抑うつや不安をはじめとした、さまざまな心理的苦痛が存在します。その結果、治療意欲が奪われたり、判断能力が減退したりしますが、このクリニックスでは池永院長の限らないこだわりで、癌患者のこのような心理状態を拭きさせる診療所だなど、感心して帰宅いたしました。素晴らしい企画でした。

【西宮市・林田クリニックス 林田 英隆】

芦屋市の最南端、明るい埋立地にある高級和風割烹店の趣きです。緑あふれる中庭を中心に、薪ストーブのある広い待合室、和風・洋風・シャワー付きの三種の個人待合室、木造のように見える窓のある放射線診察室と治療室、車椅子で入れる玄関やトイレが配置され、私自身もここで治療を受けたいと思いました。

池永先生のロマンを感じるクリニックスでした。

【西宮市・大森内科医院 大森 公一】

世話人会だより

西宮・芦屋支部は5月23日に西宮医療会館で世話人会を開催。6人が参加した。

【報告】

① 芦屋放射線クリニックスのぞみ見学会 (5・13)

② 市民公開文化講演会 (5・17)

【予定・企画】

① CPR講習会 (6・7)

② 第13回胸部X-IP読影会 (6・19)

③ 酒蔵見学会 (6・21)

④ 第31回漢方研究会 (6・28)

⑤ Medical English #41 (7・18)

⑥ 第34回支部総会記念市民公開講演会 (7・19)

⑦ 第25回日常診療ガイドライン

⑧ 但馬支部との交流企画

⑨ 保険請求事務講習会 (医科)

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。